

令和2年第3回 経済建設委員会会議録

令和2年6月11日

恵那市議会 議場

開 会：午前9時59分

委員長 中嶋 元則

副委員長 堀 光明

2番委員 佐々木 透、3番委員 後藤 康司、4番委員 荒田 雅晴

委員長 ; おはようございます。定刻より少し早いですが、皆さんおそろいですので、ただ今から、令和2年第3回経済建設委員会を開会いたします。

本日の会議は、去る5月29日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は、別紙の次第書の順序で行いますので、よろしくお願いいたします。

それでははじめに、小坂市長、ご挨拶をお願いします。

市長 ; 皆様おはようございます。本日は早朝よりお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日もよろしくお願いいたします。

少しだけ、近況の報告を申し上げます。

まず、特別定額給付金でございますが、きのうも日本中では随分遅いというようなニュースが出ておりましたけども、恵那市の場合は、本日付けの振り込みまで入れますと、97.77%。残り1,100人ぐらいというところまで来ております。着実に進めてまいりたいと思いますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それから、先週でございますが、主として、ラリージャパンのための活用推進委員会を立ち上げさせていただきました。ことはいろいろな催しが全てキャンセルもしくは中止、延期ということでございますが、何とかこれを、実現に向けて動いてまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それから、昨日の日本経済新聞の上半期のヒット番付というのが発表されて、1番がオンライン、2番が応援消費、3番目がおうちごはんというようなことで、コロナ絡みのいろんなキーワードがヒットしたというふうに出ておりましたが、これは、これからの日本、もしくは恵那市を含めて、地方のあり方にも随分と大きな影響を及ぼすと思いますので、これからはこういったキーワードを頭に入れながら新しい施策についても考えてまいりたいというふうに考えております。どうぞよろ

しく願ひします。

それでは本日、4件ということでございますが、どうぞ活発なご審議いただきますようによろしく願ひいたします。以上です。

委員長 ; ありがとうございます。

続きまして、千藤副議長、ご挨拶をお願いします。

副議長 ; 皆さん、おはようございます。早朝よりご苦勞さんでございます。

まず、コロナの対応に対しましては、執行部の皆さんは本当に一生懸命やっていたかまして、今市長さんの話で、約98%が給付できたということに対しまして、本當にお礼を申し上げます。

きょうの第3回の委員会ですが、私ども議員のほうは恥ずかしいことに不祥事がございまして、新しいメンバーでの、第3回目の委員会ということでございますので、きょう4件の議題がございしますが、活発な討論をやっていただきたいと思っておりますので、よろしく願ひします。以上です。

委員長 ; ありがとうございます。

それでは、議題に入りますが、議案の内容は、本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

なお、発言については、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、着座のまま、マイクに向かって、簡潔に質疑、答弁をされますようお願いいたします。

委員長 ; はじめに、「議第61号 恵那市都市公園条例の一部改正について（所管部分）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第61号 恵那市都市公園条例の一部改正について（所管部分）」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛 成 者 挙 手）

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 6 1 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 6 2 号 契約の締結について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 6 2 号 契約の締結について」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 6 2 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第 6 4 号 市道路線の廃止について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありますか。1 番委員。

1 番委員 ; それでは 1 点だけお願いします。

この市道は、主要地方道瑞浪大野瀬線に合流しています。県道も平成に入って大規模に改良されています。この市道は現地へ行って見てみますと、全く形がなくて、工場内で道がないような気がしました。実態のない状態です。昔は上に民家があって使用したように聞きますが、平成の県道の改良のときに、旧の町村でも協議されていたと思いますが、現在まで廃止されずに残っていた経緯がわかりましたら教えてください。

委員長 ; 建設課長。

建設部次長

兼建設課長 ; 今回の市道明智町 239 号線でございますが、全延長が 317 メートルということでございます。

過去の経緯では、昭和 30 年ごろまで民家が 1 軒、途中なかに建っておりまして、この道路を使用しておりました。民家はその後、移転をされて取り壊されましたが、近くにお墓がありましたので、市道の廃止には至らなかったと聞いております。そ

の後市道沿いに中部電力の高圧鉄塔が建って、点検時には本路線を利用していたと聞いております。

今回、土井鉱業より廃止の申し出があったために、現地を確認した結果、市道としての十分な機能がないことを確認いたしました。しかし機能がないとはいえ、沿線の接道の権利はあるため、今回沿線地権者の同意を得て廃止に至ったということでございます。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第64号 市道路線の廃止について」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第64号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に、「議第65号 令和2年度恵那市一般会計補正予算（第4号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。ご質疑はありませんか。4番委員。

4番委員 ; 今度の補正で、少しコロナに対する助成があるかなと思って楽しみにしておったわけですが、なかったので聞きます。

営業を伴う指定管理者、例えば、温泉だとか、道の駅3駅、そして、宿泊を伴う施設ありますけど、このコロナの影響で、特に宿泊を伴う施設は売り上げがありません。道の駅もかなり減っております。

持続化給付金200万円までいただけるわけですが、50%落ちたということで、なかなかそこにはまるところがないということで、資金繰りに困っております。

市と指定管理というのは、オーナーと店長という関係だと思っております。

店長が困ったときは、やっぱりオーナーが助けてくれると思っております。

例えば、お客が1人来ても光熱費はかかります。だから、水道光熱費の一部、それに限らず、何らかの形で営業を伴う指定管理者を助けていただきたいと思います、

その辺の考えはどうでしょうか。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 今議員がご指摘のとおり、指定管理施設におきましては、前年度比、かなり落ち込んでいる状況ではございます。

それで、今の持続化給付金ですとか、岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金、あと雇用調整助成金ですとか、そういうものでまず対応していただいて、たくさん指定管理施設ございますが、その辺、調査し、まとめさせていただいて、今後の対応については進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 政府の持続化給付金もありますが、申請してから 2 週間以内に出るっていうふうに政府は言っていますが、本当はそこまで早くはこないと思っています。

やはり資金繰りは厳しいとこで、しっかりしたところなら銀行で借りることもできますが、それも今までが悪いっていうことはありますので、何とか市で、その間を縫って、スピード感を持ってやってほしいと思います。

委員長 ; 要望でよろしいですか。

4 番委員 ; はい。

委員長 ; ほかにありませんか。2 番委員。

2 番委員 ; 商工業振興事業費のプレミアム付商品券発行事業補助金の増の件であります。今回「カッとく！応援チケット！」、これが本当に市民の皆様にも浸透して、これについては、企業のほうも、また、生活者の皆さんも本当に大きな事業であったというふうなふうに思ってます。これが大きく浸透しましたので、恐らく今回も、相当な反響を呼ぶんじゃないのかっていうふうにも思っております。

この上限を 1 人 5 シートまでというようなことをお聞きしたんですけど、果たして、これがいろんな不公平な、そんなに買われちゃったからなくなったやないかとか、そういうことがないようにしておられるのかということと、もう 1 つ、これもしかしたら完売しちゃった後に、再発行というか、そういったお考えはあるのかちょっとお聞きしたいです。

委員長 ; 商工課長。

商工課長 ; プレミアム付商品券でございますけれども、まず、多くの枚数が購入されることを想定しまして、販売枚数を昨年の 1 万シートから 3 倍の 3 万シートに増やしております。まずはその中で対応していきたいということを考えています。

その中で 1 人 5 シートとしたのは、多くの方にも買っていただくために 5 シートとい

う上限をつけております。1人の方が100シート200シート買われないように、というような意味合いがございます。このプレミアム付商品券、今年で3年目となりまして、例年の1億円、プレミアム10%から、今年は3億円、プレミアム30%に増やしてやっていく予定ですが、完売してしまった場合は、残りの使用できる日数だとか、プレミアム分の予算措置といったこともございますし、換金を行う金融機関等、関連機関の調整も必要になってきます。完売となった時期等も見極めながら、商工会議所、商工会、金融機関、商店街連合会、こういった皆さんで商品券実行委員会を結成しておりますので、その中で協議をしていきたいというふうに考えております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。2番委員。

2番委員 ; 観光PR事業費の件であります。宿泊割引クーポン券発行業務委託料と市内周遊ツアー事業費ということで、このコロナ禍の中で、やはり、皆さんも旅行に行けない、また、観光業界にも本当に大きな痛手になっておるということで、大きな事業かと思われそうですが、ただ、まだ完全なコロナの収束ではないということで、もしかすると、今年度内までかかってしまうのではないかっていうふうにも思われるんですけど、この事業について、本来は早くから始めたいと思うんですけど、どのようなお考えか、ちょっとお聞きしたい。

委員長 ; 観光交流課長。

観光交流課長 ; 商品券付き宿泊割引クーポンでございますが、国の「Go To キャンペーン」、あと、県も同じように宿泊割引を行われるということを聞いております。「Go To キャンペーン」につきましては、ちょっと先送りになって7月下旬ごろからというようなことも言われておりますが、いずれにしても、国と県の動向を見まして、より効果的で、安全に運用できる方法を考えながら、行っていきたいと考えております。市内の周遊ツアーでございますが、こちらのほう市民向けということも考えておりますので、できれば早いうちに、市内向けと、あと市外向けというようなことも考えながら、観光協会とやる時期も検討しながら行っていききたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 ; ほかにありませんか。2番委員。

2番委員 ; 土木費のほうでひとつお聞きしたいんですけど、河川整備事業費と、それからリニア基盤整備事業費の、どちらもこれ河川なんですけど、特にここを優先されることになった経緯とか、まだほかにもたくさんそういったような箇所あるんですけど、ここに決まった経緯をお聞きしたい。お願いします。

委員長 ; 建設課長。

建設部次長

兼建設課長 ; よろしく願いいたします。

今回、まずこの緊急自然災害防止対策事業債という事業が立ち上がりましたが、その経緯を若干説明させていただきます。

緊急自然災害防止対策事業債というのは、100%充当で交付税として 70%返って事業の起債でございます。令和元年の 11 月 15 日に、国土交通省より、本事業の活用について、市が管理している普通河川が対象になるということで通達が来しました。この事業自体の条件といたしましては、家屋に著しく影響があることが 1 点目。改良を伴う工事であること、というのが 2 点目。3 点目が、令和 2 年度中に工事に着手することっていう、この 3 点の条件が付されております。

中でも後田川と黒岩川っていうことで上げさせていただいておるんですけど、著しく民家に影響するっていうことが懸念されておりました。

しかしながら、今までこういった普通河川に対しての補助事業がなかったですので、今回緊急的に上げさせていただいて、整備をしたいということで、補正を上げさせてもらっております。以上でございます。

委員長 ; リニアまちづくり課長。

リニアまちづくり課長 ; あわせまして、黒岩川整備のことについてお答えさせていただきます。

黒岩川につきましては、昨年 12 月にリニア軌道沿線の基盤整備、まちづくりを示しました、リニアまちづくり基盤整備計画というのを策定いたしました。その中で、リニア沿線の、大井町の大井長島地区にあります、黒岩川の整備についても計画しております。

当地域は、リニア沿線ということで、将来的には、都市的な土地利用が見込まれる地域として位置づけていますので、今回の河川整備は、将来構想を見据えて、先ほど建設部次長が言いましたように、有利な財源がある今、また、リニア工事が数年後には始まりますが、そのときに、リニア工事も始まる、河川工事も始まるというようなことで、当地域の生活に影響が軽減される今が、ということで今回提案させていただきました。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 6 5 号 令和 2 年度恵那市一般会計補正予算 (第 4 号) (歳入歳出所管部分)」

は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって、「議第 6 5 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題をすべて終了いたしました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和 2 年第 3 回経済建設委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前 10 時 20 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 経済建設委員長 中 嶋 元 則